

「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」が設立されました !!

令和5年3月13日(月)、自由民主党本部で「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」の設立総会が開催されました。

林芳正外務大臣、武見敬三参議院議員が代表発起人として挨拶されました。



林芳正外務大臣



武見敬三参議院議員

【林芳正外務大臣：挨拶】

ワンヘルスが大事だということは誰もが認めるところです。私がワンヘルスを聞いたのは2015年。その頃から藏内会長と横倉前医師会長は「**人獣共通感染症というものがある、動物の中で共存しているウイルスが別の動物、人間に入ってくるとそのリスクは計り知れない。**」ということを提唱されていました。

2015年時点から警鐘を鳴らしていただいていた。これから我々がコロナの経験を生かしてしっかりと取り組んでいかなければなりません。

武見先生と共同発起人となり、麻生副総裁も役員に就任していただけるとのこと。

一致団結して、今後同様の事態が起きた際にもう少しスマートな対応ができるようにしていきたい。先生方の活発な活動を期待します。

【武見敬三参議院議員：挨拶】

ワンヘルスは、日本医師会と日本獣医師会が手を携えて率先して取り組んでいただいています。国際社会の中においても、動物の健康と人間の健康を一体として考える動きが、動物由来の感染症が深刻な課題であるという共通認識が広がったことによって進んでいます。

藏内獣医師会会長は、この問題に果敢に取り組まれて、アジア獣医師会連合の会長に就任されました。私の期待として、次は世界獣医師会の会長になっていただき、この取組を更に推進していただきたいと願っています。

こういう大きなテーマを考える時代がやってきました。薬剤耐性菌の問題なども全て含めてワンヘルス議員連盟で取扱い、大きな役割を担っていきたい。

代表発起人挨拶の後、麻生太郎副総裁も発起人として挨拶されました。



古賀篤衆議院議員

麻生太郎副総裁

【麻生太郎副総裁：挨拶】

今年1月の国会で、岸田総理が「ワンヘルスは重要な課題。G7広島サミットでも重要な課題の一つとして位置付ける。」という答弁をされました。このことは、私どもとしては前向きに捉えています。ワンヘルス実践運動やアジアでの連携など、多くの皆さんの協力が必要です。生活に直結する大きな問題です。

コロナの反省を活かして、医師会、獣医師会と体制づくりを考えていきたい。

「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」の「[設立趣意書](#)」には、以下のように記載されています。

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界にまん延し、パンデミックとして人類を恐怖に陥れました。近年発生している新興・再興感染症はいずれも動物由来の人獣共通感染症であり、その予防やまん延防止のためには人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守るワンヘルスの実践に基づく感染症対策が世界的に必要とされています。

国の危機管理体制が不備な状況の下では、動物由来の新興・再興感染症の発生を事前に察知することは困難であり、必要な感染症対策が後手に回り、再び今回の新型コロナウイルス感染症のような甚大な被害を招くことが強く懸念されます。

本議員連盟は、[ワンヘルスの概念に基づき医師、獣医師、環境の研究者等の関係者の連携・協力の下に、将来にわたって国民の健康を守るとともに、人と動物の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地域や社会の持続的な発展を目指すものです。](#)
(一部抜粋)

2023年3月14日

福岡ワンヘルス協議会・事務局